

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①NHKスペシャル取材班著『睡眠負債』朝日新聞出版 (187頁, 新書判)</p> <p>毎日1、2時間という睡眠不足が借金のように膨らんでいく「睡眠負債」。「キッチンと寝ているはずが、仕事中につき、ウトウトしてしまう」「仕事や家事で、思わぬミスをしがち」「原因もなく疲れやすい」——。こうした症状が生じたら要注意だ。睡眠負債は知らず知らずのうちに脳のパフォーマンスを低下させ、仕事の能率を下げるほか、がん細胞の増殖にも加担するとの指摘もある。こうした結果、睡眠時間の不足によるわが国の経済損失が15兆円にのぼるといふ報告もある。専門家は理想的な睡眠時間としては、質のいい睡眠7時間前後を推奨。「働き方改革」でも重視する「勤務間インターバル」は、こうした睡眠負債による注意力、運動能力の低下を防ぐためにも有効とみる。</p>	<p>③渋谷昌三著『フラリーマンの心理を読む』毎日新聞出版 (190頁, B40判)</p> <p>「フラリーマン」とは、著者が十数年前に造った言葉。当時は団塊の世代が一齐に定年退職を迎えるところで、家庭を顧みず、仕事一筋だった会社員が、夜の街を理由もなくフラフラする様子を描写した。それが最近では、30代、40代のフラリーマンが急増しているという。政府による「働き方改革」「プレミアムフライデー」の導入で、労働時間が短縮され、急に時間ができた男性陣が、その時間をうまく使えずに持て余しているようだ。著者は、外で仕事をしている大義名分の下、家事や育児を妻に任せっきりに行っているフラリーマンには女性から反発が出ていると指摘。黄色信号がとまり始めた夫婦関係を円満に継続するため、心理学テクニックも用いつつ、具体的な解決方法を示す。</p>
<p>②石塚由紀夫著『働く女性 ほんとの格差』日本経済新聞出版社 (253頁, 新書判)</p> <p>政府が女性活躍推進を国の重点施策に定めてから5年。この間、女性の就業率は上昇し、育児休業取得者も増え、女性管理職比率も伸びた。一見すると、女性活躍推進が成果を上げているようだが、女性正社員を対象に実施した調査で、女性活躍が進んだ実感があるか聞くと、「実感あり」と回答したのは2割にも届かなかった。一方で、男性社員のガマンも限界に来ており、「なぜ女性ばかり？」と心中穏やかではない。本書は、女性を登用する目的は、経営戦略上、不可欠だからとの立場を貫く。子育て優遇にうんざりする独身女性、孤立無援なワーキングマザー、非正規社員や専業主婦のジレンマなど、あえて「輝けていない」事例を参考に女性社員活躍のための処方せんを明示。</p>	<p>④宮前忠夫著『あなたは何時間働きますか?』本の泉社 (198頁, 四六判)</p> <p>副題が「ドイツの働き方改革と選択労働時間」となっている。ドイツは、1950年代から長時間労働を見直し、産業別労働組合であるIGメタルが主導して、長い闘争の末、1995年より週35時間労働制が導入された。しかし、それと同時に、経営側は変形労働時間制をはじめとする労働時間の「フレックス化」を強く求め出した。IGメタルが組合員68万人を対象に実施した2017年の調査では、77.5%が週35時間より長く働き、24.4%は週40時間を超えて働いていたことが判明するなど労働者には厳しい内容だったと紹介。本書をめくれば、ドイツがどのように労働時間短縮を実現したかがわかる一方、現在の35時間労働の「パラダイム転換」がいかに起きつつあるかを理解できる。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2018年9月—10月労働図書館受け入れ)

- ⑤佐藤留美著『仕事2.0』幻冬舎(198頁, 四六判)
- ⑥北村貴明著『クールワーカーズ』合同フォレスト(206頁, 四六判)
- ⑦武沢信行他著『世界起業』のススメ:『和働会』を創った男達』カナリアコミュニケーションズ(160頁, 四六判)
- ⑧菅原洋平著『朝イチのメールが残業を増やす』日本経済新聞出版社(202頁, 新書判)
- ⑨ACE著『チェンジの扉:児童労働に向き合って気づいたこと』集英社(126頁, 四六判)
- ⑩中原淳他著『女性の視点で見直す人材育成』ダイヤモンド社(215頁, A5判)
- ⑪権丈善一著『ちょっと気になる政策思想:社会保障と関わる経済学の系譜』勁草書房(xiii+357頁, A5判)
- ⑫野村正實著『「優良企業」でなぜ過労死:過労自殺が?』ミネルヴァ書房(iv+209+4頁, A5判)
- ⑬高橋賢司著『労働法講義 第2版』中央経済社(4+8+413頁, A5判)
- ⑭脇坂明著『女性労働に関する基礎的研究』日本評論社(viii+291頁, A5判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書122,617冊、洋書31,228冊、和洋の製本雑誌26,328冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(264種)、洋雑誌(142種)、紀要(509種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地:〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間:9:30~17:00
 休館日:土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日~1月4日)、その他
 電話番号:03(5991)5032 / FAX:03(5991)5659
 利用資格:どなたでもご自由にご利用できます

貸出:和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス:図書資料の所在調査などのサービスを行っています

